

千倉協事務局からのお知らせ

令和6年3月29日

(283)

千葉県倉庫協会事務局

TEL : 043-307-1581 FAX : 043-307-1582 E-Mail : chibakyo@s8.dion.ne.jp

《今月号の記事》

1. 第2回品目別部会・全体会議・講演会を開催しました
2. 令和5年度第4回総務委員会を開催しました
3. 「第77回通常総会」の開催について
4. 千葉県倉庫協会会長表彰の推薦について
5. 「今後の行事等」予定
6. 事務局からのお知らせ・・・メール送信について
7. 3月12日開催の品目別部会報告

- ☆ 研修・セミナーの案内等はeメール・電話等により請求いただければ、再送いたします。
 - ☆ このお知らせは各会員の連絡担当者の方に配布しております。皆様にご覧になれるようご配慮をお願いいたします。
 - ☆ 異動等で連絡担当者に変更になる場合及びメールアドレスが変更になる場合には、ご連絡をお願いいたします。
- ☆ 関総連5協会とは、茨城、群馬、栃木、山梨と千葉県倉庫協会です。
6協会とは東京倉庫協会を加え、7協会とは神奈川倉庫協会を加えます。

1. 第2回品目別部会・全体会議・講演会を開催しました

令和5年度第2回品目別部会・全体会議は3月12日（火）ホテルグリーンタワー幕張において開催しました。4部会の会議には42名の参加をいただき、全体会議後の講演会は39名が参加していただきました。

2. 令和5年度第4回総務委員会を開催しました

令和5年度第4回総務委員会は、3月19日（火）に開催しました。議事内容は、12月以降の役員、委員の交代、会員の移動、主な活動状況、仮決算等報告され、次に審議事項は今後の行動予定及び第77回通常総会の議案書（案）等が承認され、理事会に提案します。

3. 第77回通常総会の開催について

第77回通常総会は次のとおり開催します。事務局では、会員の皆様の参加をお待ちしております。尚、欠席の場合は「委任状」の提出をお願い致します。また、千葉県倉庫協会・千葉食糧保管協会合同懇親会も予定しております。

また、翌日23日には有志によるゴルフコンペをロッテ皆吉台カントリークラブで開催をいたします。

日 時 5月22日(水)

場 所 龍宮城スパホテル三日月

木更津市北浜町1 TEL0438-41-8111

開始時間は次のとおり

14:00 千葉県倉庫協会第77回通常総会・協会長表彰

16:00 千葉食糧保管協会第43回通常総会

18:00 千葉県倉庫協会・千葉食糧保管協会合同懇親会

4. 千葉県倉庫協会会長表彰の推薦について

1月5日に倉庫業の永年勤続者候補者推薦を案内したところ、会員の皆様からの沢山の推薦がありました。

4月の理事会で審議し、受賞者を決定します。5月22日千葉県倉庫協会第77回通常総会において、千葉県倉庫協会会長表彰を行います。

5. 「今後の行事等」予定

4月24日(水) 午前：第221回理事会

5月22日(水) 午後：第77回通常総会

6. 倉庫業に係る定期報告・・・事務局からのお願い・・・

定期報告書は、皆様から報告いただいたものを集計して、皆様にお返ししています。

また、皆様に代わり関東運輸局に報告しております。

皆様からの報告が遅れますと、関東運輸局への報告も遅れますので、お忙しいところ恐れ入りますが提出期限について、よろしくお願ひします。

報告書の提出期限・・・毎月翌月の20日・・・協会への提出期限です

- 月末倉庫使用状況報告書
- 受寄物入出庫高及び保管残高報告書

7. 品目別部会 各部会発表内容

(原材料部会)

本日の原材料部会は6店社8名で開催いたしました。

本日出席いただいた店社の主な取り扱い貨物は、鉄鋼と木材となっております。

初めに鉄鋼について報告します。

2023年下期は2020年後半から始まった半導体不足、更には自動車メーカーの不正問題が重なり、自動車生産台数減少に伴う自動車生産用鉄鋼の取扱が減少している状況です。

2024 年度の見込みですが、各社顧客より取扱の復調は見込めず、2023 年度と同水準で推移する予想をされています。

次に木材について報告します。

2023 年下期は、2021 年から始まった第3次ウッドショック、円安基調の継続、更には国内住宅着工率の減少により、物量は減少している状況です。

2024 年は、第3次ウッドショック、円安基調の継続、住宅着工率の減少と先行き不安系要素が多く、2023 年同様の水準で推移すると予想されています。

本日出席されている店社様に 2024 年問題についての対策状況を確認いたしました。

各社とも主だった対策はおこなっていませんが、積込ドライバーの 2 時間以上待機を防ぐべく、人員不足等厳しい状況下でなんとか凌いでいる状況との事でした。一部の店社様で、荷主へ早急かつ抜本的な対策（出荷オーダーの受付締め切りを 1 営業日前から 2 営業日前としていただくよう依頼中など）を依頼しているとの事でした。

以上、原材料部会の報告といたします。

（穀肥・食料品部会）

1. 会員出席者 13 社 15 名

2. 米穀関係

（1）令和 5 年度 第 3 四半期の状況（品目「米」）

- ① 12 月末残高 34, 097 トン 前年比+1, 907 トン
- ② 第 3 四半期の動向（3 カ月平均）
 - 入庫 9, 104 トン 前年比+2, 951 トン
 - 出庫 8, 090 トン 前年比+ 844 トン
 - 残高 31, 573 トン 前年比△2, 728 トン

（2）会員各社の発表

① 取扱状況

- ・千葉県で作況指数は「100」（平年並み）となっているが、例年に比較して民間米の集約量は少ない。その結果、倉庫のスペースが空いている。

② 課題

- ・空坪を埋めるべく、お米以外の貨物を含め集荷していきたい。
- ・政府米保管料経費計算方法が、前期より期末残高方式と積数計算方式から選択可能となったが、後者の単価が低い等問題がある。お米は一般貨物に比較して料金が低い。協会等を通じて引き続き改善・値上げを求めていきたい。
- ・電気代高騰、定温設備の補修費用増に対応するため、顧客に料金の値上げを要請していく。
- ・（運送を行っている会員から）トラック待機時間の増加の改善を関係者に求めていきたい。

3. 麦関係

(1) 令和5年度 第3四半期の状況 (品目「麦」)

- ① 12月末残高 151,793トン 前年比△8,431トン
- ② 第3四半期の動向 (3カ月平均)
 - 入庫 73,164トン 前年比+6,284トン
 - 出庫 83,052トン 前年比+2,726トン
 - 残高 170,093トン 前年比△8,592トン

(2) 会員各社の発表

① 取扱状況

- ・昨年5月にコロナが5類感染症に移行されたこと、インバウンド需要の高まりにより、小麦の取扱は好調だった。また、国産小麦の取扱が伸びている。

② 課題

- ・国産小麦の取扱増加に伴い、内航船の確保が課題である。
- ・大規模設備改修工事の発生、電気代高騰に対して、顧客の理解や料金の値上げを求めている
- ・その他、2024年問題、人手不足、フォークマン高齢化への対応。

4. 飲料関係

(1) 令和5年度 第3四半期の状況 (品目「飲料」)

- ① 12月末残高 53,309トン 前年比△ 471トン
- ② 第3四半期の動向 (3カ月平均)
 - 入庫 78,625トン 前年比△15,188トン
 - 出庫 78,188トン 前年比△14,578トン
 - 残高 47,084トン 前年比△ 5,140トン

(2) 会員各社の発表

① 取扱状況

- ・コロナの5類感染症への移行、インバウンド需要増により、飲料の取扱は堅調だった。アルコール関係では、大手飲料メーカーの「ストロング系飲料」の販売見直しによる影響が懸念される。

② 課題

- ・飲料の外箱が弱くなっており、保管効率の低下、作業負担の増加や、納入先からの胴ふくれ等クレームを受ける等、対応に苦慮している。
- ・2024年問題が大きく取り上げられ、トラックドライバーの労働実態が注目されているが、倉庫作業についても同様の問題がある。協会等を通じて改善を働きかけていく必要がある。
- ・2024年問題について、一層のパレダイズ化、共同配送の推進、トラックバース予約システムの導入に散り組む一方、顧客の理解や料金値上げを要請していく。

(化学品部会)

参加店社 9 社 13 名にて検討を実施

(1) 各店社の倉庫状況

① 石化樹脂

- ・大半の倉庫の主要貨物となっている。
- ・昨年秋より、在庫が高止まりしており、入出庫量は減少。
倉庫の回転率が低下し、低収益が継続している。
- ・例年であれば、円安進行に伴い、輸出が増加し在庫が減少するが、今回はその傾向が全く見られず、輸出による貨物回転率の向上は、見込めない。
- ・中国のデフレ進行とともに、中国からの輸入が増加している。
- ・国内のインフレ進行に伴い、家電、食品トレー、包装材、コンビニの弁当箱等のメーカーへの出庫が減少している。消費者の節約志向の向上と思われる。
- ・上記の状況から、汎用樹脂石化メーカー各社は生産調整（減産）を実施しているが、販売不振が継続するものとおもわれ、在庫の高止まりは継続すると思われる。
- ・半導体用樹脂、塗料用材は販売が堅調に推移しており、倉庫の回転率も順調である。
- ・汎用樹脂を扱う倉庫業者は、今後も庫複の確保が大きな課題となる。

② 農薬・肥料

- ・多品種少量化が顕著であり、保管効率が悪くなっている。
- ・需要に季節性がある。原油価格の変動影響を受けやすいなど、安定的な流通が困難である。
また、問屋の一時的な買い占めが行われるため、倉庫での保管料の増減が激しいため、倉庫業者には、扱いにくい商品となっている。
- ・農業・肥料も原料を輸入に依存している為、為替変動に影響されやすく、現在の円安基調により、価格が高騰しており、需給のギャップが大きい。

(2) その他

- ・各社とも、フォーク・オペ不足の状況にあり、フォーク・オペの確保が大きな課題となっている。
- ・新入社員が定着せず、短期間で辞めてしまうことが多い。
それに伴い、社員の高齢化が進んでおり、歯止めがかからない。
- ・昨今、石化樹脂の包装に、ワンウェイ・フレコンバックを利用する会社が増えている。
通常のフレコンバックと違い、多段積が出来ず保管効率が低下しており、その保管方法が、課題として浮上している。

(3) 総括

- ・石化業界では、今後、業界の統廃合のような大きな変化がおこると思われ、業界の動向に注意が必要。
- ・肥料は、農家の高齢化、農産物価格の低迷などにより、生産意欲が減退し、市場規模が減少しており、今後、業界の盛衰を注視する必要がある。

(機器・製品部会及びトランクルーム連絡会)

本日は3社4名の出席をもちまして意見交換を行ってまいりました。

当部会加盟企業の取扱いとしましては金属製品、電気機械、その他機械、繊維系製品、雑品、トランクルーム及び文章保存という事になります。第3四半期の前年比較の動向として動きが大きなものとしては金属製品、電気機械、その他製造工業品があげられます。金属製品については原料不足の影響が大きくマイナスの動向を示しております。電気機械や製造品の類は前年比では大きく伸長しておりますが、これは前年実績が半導体等に代表される資材不足から回復したことの表れととれます。保管残高の上昇は製造の回復から製品供給のペースが市場への投下を追い抜いていることから伸長傾向に見えているものと捉えております。

トランクルームの動向につきましては、本日トランクルーム事業者様の出席がありませんでしたので具体的なお話を聞く事は出来ませんでしたが、中東、ウクライナ情勢に代表される海外の情勢不安や、中国からの相次ぐ日本企業撤退などがトランクルーム市場において海外赴任者のトランクリーム利用等の減少といった影響を及ぼしているものと推察します。

簡単では御座いますが、機器製品部会及びトランクルーム連絡会からの報告となります。

千葉県倉庫協会のホームページ

<http://www.soukweb.jp/chiba/index.htm>

- ① 事務局からのお知らせ
- ② 会員のページ（毎月の残高報告）